

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
乳児保育Ⅱ Baby Child Care Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(保育士養成課程必修)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
乳児保育Ⅰ、保育士養成課程に必要な科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
高橋登美子	講義棟3階	火・水・木・金 9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
3歳未満児の発達と保育についての学びを深め、健やかな成長を支えるための生活と遊びの具体化、そして、保育者としての援助のすばらしさに気づき、乳児と過ごす豊かな時間の必要性を学ぶ。				
授業の目標				
①乳児とのかかわり方について知り、保育者として求められる技術を習得することができるようにする。 ②乳児の発達を踏まえた健やかな遊びについて考え、にゅじに対する適切な対応と配慮ができるようにする。 ③養護と教育の内容を適切に捉えた乳児保育の指導計画を立案することができるようにする。				
授業の方法				
乳児の沐浴人形とたくさん触れ合う。 知識として必要な学びは講義とし、学びを深めるための映像資料も観る。 保育技術を身に付けるための活動は、グループ演習を取り入れて学生の主体性を大切にする。				
学習の成果(学習成果)				
「乳児保育」の意味を適切に捉え、「乳児保育」の必要性を理解し、「乳児保育」の具体的指導と環境を考えることで、健やかな成長と発達に適した乳児とのかかわりと保育ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス～シラバスの説明、授業の進め方、沐浴人形の扱い方、演習内容の準備について、評価の方法～			
第2回目	沐浴人形との触れ合い①～映像資料「健康な乳幼児の発達 誕生から10か月頃」～			
第3回目	沐浴人形との触れ合い②～生活環境の学びとベビーマッサージ・着替え～(レポート提出：授業中に指示します)			
第4回目	身体機能の発達と保育～描画活動の発達を知る・造形への関心～(レポート提出：授業中に指示します)			
第5回目	発達における描画活動の実際～教材研究と造形活動～			
第6回目	基本的生活習慣の獲得と保育について①～食べるということ、映像資料「健康な乳幼児の発達 12か月から18か月頃」～			

第7回目	基本的な生活習慣の獲得と保育について②～おむつ交換・排泄について～	
第8回目	対人関係の発達と保育①～映像資料「語りかけ育児」～	
第9回目	対人関係の発達と保育②～おむつ交換と散策活動～	
第10回目	乳児の発達と保育内容①～小麦粉粘土作成（レポート提出：授業中に指示します）	
第11回目	乳児の発達と保育内容②～カシャカシャ音を楽しむ遊び（製作物の提出：授業中に指示します）	
第12回目	乳児の発達と保育内容③～思い出のフレーム作成（製作物の提出：授業中に指示します）	
第13回目	乳児保育と保育課程①～1歳児のデイリープログラムを読み解く	
第14回目	乳児保育と保育課程②～指導計画の作成（指導案の提出：授業中に指示します）	
第15回目	赤ちゃんとの出会いと育児～健康観察の重要性の確認～	
事前・事後学習	自身の乳幼児期のエピソードを家族からお聞きする。活字で示すことも保育者としての大切な学びと捉え、演習内容は授業後まとめておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	沐浴人形を丁寧に扱っている。演習活動の準備が積極的である。教材研究への意欲が見られ、活動後の片付けもできている。
レポート	30%	第3回、第4回、第10回の学びについてレポートを作成し、それぞれ10点ずつの配点とする。発達を踏まえた内容が適切に表現されていることを求める。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	第11回、第12回の学びとして、製作物に取り組む。それぞれ10点ずつの配点とする。乳児にとって安全な政策であることが大切。
その他	10%	第14回の学びとして、乳児を対象とした指導案の作成をする。乳児にとって安全で、手指の発達に触れられていて、保育者の配慮が活字として適切に示されていること。
教科書と参考図書		
「乳児の生活と保育」ななみ書房		
履修上の留意点・ルール		
沐浴人形の取り扱いには十分な配慮をする。小麦粉粘土、保育教材研究や製作の材料は各自、またはグループで分担する。使用教室の衛生と整備に心がける。演習活動に必要な準備は、楽しみながら取り組むことを期待します。		